

3館の個性生かしつつ一体運営 vol.2

那須塩原市図書館 データベース導入事例



黒磯図書館

塩原図書館



西那須野図書館

館の統括責任者で西那須野図書館の野口孝久館長は「3つの図書館は、異なる個性がありますが、各図書館の沿革、特性を尊重しながら、一体となって利用者の方々へ本の貸し出しを行っています」と話します。未来の図書館の形を模索しつつ、デジタル情報と活字媒体の共存共栄を図る第一歩として「下野新聞plus日経テレコン」を導入しました。信頼性確かな新聞デジタル情報の積極的活用を推進しています。

西那須野図書館の自慢は新刊本コーナー。作家の井上ひさしさんが提唱した「むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く」がコンセプトです。「本は確かにデジタル情報に比べると、スピード、リンク性は劣るかもしれませんが。しかし情報の

出所は確かで、出版社も、作者も明示されています。今一度、図書館という名の知識・創造の森を探索してみたい」と野口館長は期待します。

計画進む黒磯駅前図書館

現在、黒磯駅前図書館の計画が進んでいます。従来の図書館の機能だけでなく、地域住民同士はもちろん、地域住民と観光客の交流、まちの魅力発信などの機能を併せ持った総合的な交流拠点を目指しています。近くに整備される予定の「まちなか交流センター(仮称)」と並び、地域にとって非常に重要な施設となります。

新図書館のあり方を検討するため、地域住民の意見の集約、外部有識者



図書館の未来を担うヤングコンビ。
野村麻貴さん(右)と関尾陽子さん=西那須野図書館

からの提言など、実効性ある計画とするためワークショップを継続して実施しています。野口館長は「市民の皆さんが積極的に参加され、まちづくりの経緯なども踏まえながら、多様な利用者の居場所づくりを担える図書館づくりが進んでいます」と語ります。

下野新聞データベース

地域密着の栃木県内ニュースから国内外の経済情報を検索可能!



毎日150件以上更新/収録
記事約100万件以上(下野新聞)

下野新聞が、国内最大級の会員制ビジネスデータベースサービス「日経テレコン」とのタイアップにより提供する「下野新聞データベースplus日経テレコン」。
下野新聞ならではの地域に密着したきめ細やかな記事と、国内外のダイナミックな動きを幅広く伝える日経各紙の記事を横断的に検索することができます。

地元密着の下野新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

■お問い合わせ 下野新聞社デジタル推進室 Tel.028-625-1041 (平日、土曜9:30-17:30)

下野新聞データベース plus 日経テレコン

下野 日経

検索

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

PR